

2018年度第1回東海大学医学部附属病院医療安全管理業務監査委員会議事録

1. 開催日時：2018年10月1日（月）15:00～16:40
2. 場 所：東海大学伊勢原校舎5号館5階会議室
3. 監査委員：委員長：三木 保（東京医科大学医療の質・安全管理学分野 主任教授）
委 員：大塚 達生（弁護士・神奈川総合法律事務所）
：山口 育子（認定NPO法人ささえあい医療人権センターCOML 理事長）
：安田 聖栄（医療法人社団あんしん会四谷メディカルグループ 理事長）
：千野 修（東海大学医学部附属東京病院副院長）
*小林 幹夫（伊勢原市保健福祉部長）委員は、別の会議のため欠席
4. 対 応 者：飯田 政弘（病院長）
：大上 研二（副院長/医療監査部長）
：梅澤 博之（事務部長）
：川又 郁夫（診療技術部長/医療機器安全管理責任者）
：大澤 資樹（医療監査部次長）
：矢部 普正（医療監査部次長/医薬品安全管理責任者）
：山野 光彦（医療監査部/医療安全専従医師）
：上村 浩二（医療安全調査課長）
：水元 明裕（医療安全対策課長/専任医療安全管理者）
：内田 陽子（医療安全対策課/専任医療安全管理者）
：林 順裕（医薬品安全管理室/医療安全専任薬剤師）
：小澤 豊一（医薬品安全管理室/医療安全専任薬剤師）
：石橋 利昭（伊勢原総務課長）
：石原 潔（経営企画室課長）
：松尾 恵、高木 孝尚、飯塚 陽子（医療安全対策課/事務局）
5. 配布資料：1)監査委員会次第
2)相互ラウンド指摘事項改善事例、医療安全対策チーム活動状況
6. 監査概要
 - 1)出席者紹介
 - 2)監査委員会の成立
監査委員会規程第5条第3項により、委員の3分の2以上の出席をもって成立した。
 - 3)監査委員会の目的
監査委員長より、今後益々この委員会への意義が高まり、重要視される。年2回開催し、外部の視点から監査することは重要であり、医療安全管理体制及び業務状況について、各監査委員が精査することを目的とする等の説明がされた。

4) 監査内容

- (1) 平成 29 年度日本私立医科大学協会医療安全相互ラウンド指摘事項の対応状況
- (2) 医療安全対策チームの活動状況

7. 監査結果

- 1) 医師からのインシデント／アクシデント・合併症レポート（以下「レポート」という。）の提出を促すため、再手術事例を医療安全対策課で抽出し、診療科よりレポートの提出がない場合は、医療監査部が提出を依頼している点を評価する。
- 2) 医療安全は総論より各論が大事であり、具体的な対策について確認できた。
- 3) 病院間の相互ラウンドでは、実効性のある指摘や現実的な意見のやり取りができていて、ことを実感できた。さらに良い方向に進めてほしい。
- 4) 医師のレポート提出率について、10%を目標に取り組んでほしい。「レポートを提出することが、前向きな仕事である」ということが医療従事者へ定着すれば提出率も良くなるはずである。
- 5) 相互ラウンドが有機的に働いており、内容もどこの病院でも共通する指摘であり、指摘事項をしっかり受け止め、真摯に対応している点は評価できる。努力目標については、継続的に進めてほしい。
- 6) 医療安全対策チームでは、気道安全管理対策チームの気道安全ラウンドや看護師による気管カニューレ抜去講習会実施等の取り組みは非常に先進的である。継続して対応してほしい。努力を重ね、進化していると評価できる。

8. その他：

- 1) 2018 年度第 2 回東海大学医学部附属病院医療安全管理業務監査委員会の監査項目
 - ・各委員から監査希望項目を事務局へ年末までにメール送信し、事務局と委員長で調整し監査項目を決定する。
- 2) 第 2 回の開催時期
 - ・2019 年 2 月下旬～3 月中旬に開催予定

以 上